

## 11. おわりに

本報告書では、主に「静けさ」という側面から居住地域の音環境を眺めて来た。しかし、例えば「賑やかさ」という側面から地域を考えると、それは居住地域には相応しくないが商店街には欠かせない雰囲気であろう。音環境にはその場に合った「相応しさ」、「らしさ」が存在すると思われる。商店街には「賑やか」な音環境が相応しいし、横浜らしい音が「船の汽笛」であったり、横浜市の金沢区（金沢文庫や称名寺で有名）と聞いて思い浮かぶ音が「鐘の音」であったりもする。

その意味で、我々の生活する場としての居住地域の音環境には「静けさ」が相応しいと考えられる。居住地域らしい音環境は一言で言えば、車の音が聞こえず自然の音が聞こえる地域である。自然の音は居住地域にあって欲しいし、車の音はあって欲しくない。居住地域の多くの住民が自然の音を好むのも、それがその地域に相応しいと考えるからである。また商業地域の様な「静かではない」地域に現状を容認する者がいるのも、その「静かではない」音環境がその地域に「相応しい」と考えるからであろう。

いくら自然の音が好まれるからと言って、商店街や地下街でそれを流すことが果してどれ程の意味を持つのであろうか。天井裏に取り付けたスピーカから流れる自然の音に惑わされるほど人間の聴覚機能は単純ではないし、そもそも「自然の音」が商店街に相応しいものかどうか。但し、商店街が朝一斉に商売を開始する合図としてであれば、小鳥の声も一つのサインとして認知されるかも知れない。その地に何かの形でマッチしていれば更に受け入れられるかも知れない。実際、自然の音の適切な利用法は殆ど研究されていない。現状は録音された自然音が闇雲に流されているに過ぎない。しかし、本研究から「自然の音」が「車の音」の騒がしさを緩和し、静けさを更に感じ入らせる機能を持つことが明らかになった。これを都市の快適音環境実現に向けて利用しない手はない。

幹線道路に面したある銀行では、朝にシャッターを上げる際に嫌悪感をもよおすその金属音を消すために、キツツキが木を叩く様な独特のリズムを伴った音を流す。少し離れていれば車の音で聞こえないが、その前を通るとシャッターは心地良い音と共に開いて行く。我々のシャッターの常識を破るその音は、その場に一種奇妙な違和感と、そして爽やかさを醸し出している。

## 参 考 文 献

- 1) 田村明弘：騒音問題に関する社会調査・調査委員会報告 横浜市神奈川区生活環境調査の分析，日本音響学会騒音研究会資料N-91-15，(1991, 3).
- 2) 騒音問題に関する社会調査・調査委員会：騒音問題に関する社会調査・調査委員会報告，音響学会誌，48, 119-122(1992).
- 3) 嶋理恵子，田村明弘：小田原市中心部における音環境調査，日本建築学会関東支部研究報告集，5-8(1991, 1).
- 4) R. Shima, A. Tamura: Survey on sound environment of the central part of Odawara, J. Acoust. Soc. Japan (E), 14, 181-187(1993).
- 5) M. Sasaki: The preference of various sounds in the environment and discussion about the concept of the soundscape design, J. Acoust. Soc. Japan (E), 14, 189-195(1993).
- 6) 横浜市総務局事務管理部統計課(現 企画局統計解析課)：昭和60年度国勢調査，(FDデータ)。
- 7) 同上：昭和63年度事業所統計，(FDデータ)。
- 8) 同上：平成元年度商業統計，(FDデータ)。
- 9) 横浜市都市計画局都市計画課：横浜市の市街化動向—メッシュ分析を中心に—，昭和63年3月。
- 10) 横浜市道路局道路調査課：横浜市道路メッシュ別集計(平成3年度)，(横浜市内部資料)。
- 11) 横浜市総務局事務管理部統計課：第69回 横浜市統計書，平成3年3月。
- 12) 横浜市環境保全局：横浜環境白書—平成4年版—，平成4年10月。
- 13) 田村明弘，沢田淳也，嶋理恵子：音環境に対する住民意識 その1 聞こえる音と悩まされる音，日本建築学会大会学術講演梗概集，(1991.9)。
- 14) 田村明弘，沢田淳也，嶋理恵子：音環境に対する住民意識 その2 マクロな度とミクロな態度，日本建築学会大会学術講演梗概集，(1991.9)。
- 15) 田村明弘，沢田淳也，嶋理恵子：環境変化過程の場の評価に及ぼす影響の社会調査による検証，日本建築学会大会学術講演梗概集，(1991.9)。
- 16) 田村明弘，沢田淳也，嶋理恵子：横浜市民を対象とした音環境意識調査 その

- 1 調査概要, 日本建築学会大会学術講演梗概集, (1992. 8).
- 17) 田村明弘, 沢田淳也, 嶋理恵子: 横浜市民を対象とした音環境意識調査 その2 横浜市の音・区の音, 日本建築学会大会学術講演梗概集, (1992. 8).
- 18) 田村明弘, 沢田淳也, 嶋理恵子: 横浜市民を対象とした音環境意識調査その3 健常者のとらえた視覚障害者と音環境, 日本建築学会大会学術講演梗概集, (1992. 8).
- 19) 鹿島教昭, 田村明弘, 嶋理恵子, 澤田淳也: 音環境に関する横浜市民の意識, 日本騒音制御工学会講演論文集, 165-168(1992, 9).
- 20) 鹿島教昭, 田村明弘, 嶋理恵子, 澤田淳也: 音環境に関する横浜市民の意識, 日本音響学会講演論文集, 667-668(1992, 10).
- 21) 澤田淳也, 田村明弘, 鹿島教昭: 音環境に関する横浜市民の意識—その2. 車の音と自然の音の聞こえのランクによる分析, 日本騒音制御工学会講演論文集, 29-32(1993, 9).
- 22) 鹿島教昭, 田村明弘: 音環境に関する横浜市民の意識—その2. 悩まされる音について—, 日本音響学会講演論文集, 785-786(1993, 10).
- 23) 大熊輝之, 田村明弘, 鹿島教昭: 音環境に関する横浜市民の意識—その3. 静けさの因子“車の音・自然の音”, 日本音響学会講演論文集, 787-788(1993, 10).
- 24) 澤田淳也: 音環境に対する住民意識と地域特性の関連分析, 横浜国立大学大学院修士論文, 平成5年2月.
- 25) 鹿島教昭: 都市環境騒音の把握手法について, 第2回環境ストレスシンポジウム—都市型環境汚染に関する「環境保健モニタリング」手法の検討—, 国立環境研究所(兜 真徳編), 145-165(1991).
- 26) 鹿島教昭: 横浜市における環境騒音調査(第2報), 横浜市環境科学研究所報, 17号, 60-68(1993).
- 27) 横浜市公害研究所: 道路周辺の植樹帯による物理的及び心理的減音効果の研究—総合報告—, 公害研資料No. 66, (1985, 5).
- 28) インセル, リンドグレーン(辻, 渋谷 訳): 混みあいの心理学 快適空間を求めて, (東京, 創元社).
- 29) 日本建築学会編: 騒音の評価法 各種評価法の系譜と手法, (東京, 彰国社).
- 30) 境 久雄, 中山 剛: 音響工学講座6 聴覚と音響心理, 日本音響学会編, (東

京，コロナ社）。

- 31) 高木廣文，佐伯圭一郎，中井里史：HALBAUによるデータ解析入門，（京都，現代数学社）。
- 32) 有馬 哲，石村貞夫：多変量解析のはなし，（東京，東京図書）
- 33) 石村貞夫：統計解析のはなし，（東京，東京図書）
- 34) 芝 祐順，南風原朝和：行動科学における統計解析法，（東京，東京大学出版会）。
- 35) リンゼイ ， ノーマン：情報処理心理学入門 I 感覚と知覚，（東京，サイエンス社）。

---

---

横浜市民の音環境に関する 意識調査

1995年3月

編集発行 横浜市環境科学研究所

〒235 横浜市磯子区滝頭1-2-15

電話 045(752)2606

FAX 045(752)2609

横浜市広報印刷物登録第060688号

類別・分類 A-GA100

ISBN 4-89697-100-0

印刷 (有) シュープリント

---

---